土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　西父木野川支川3外　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

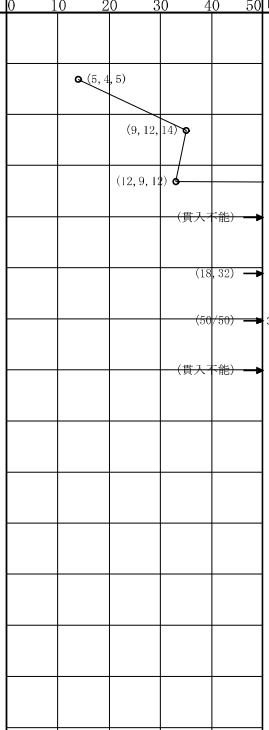
調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 7	**調査位置**	広島県神石郡神石高原町父木野地内			**北緯**	34° 39′ 56.8578″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2022年 2月 4日 ～ 2022年 2月 7日	**東経**	133° 13′ 52.0202″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 519.63m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 35°
総削孔長	7.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦DO-C
							エンジン ヤンマーNFD-12　**ポンプ** 東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	518.43	1.20		礫混じり粘土質砂		暗褐	rd1		完新世	表層0.15m，腐葉土。 泥岩礫を多く混入する強風化土。粘土分多く含有。	
2	517.63	2.00		泥岩	DL	暗灰			ペルム紀	泥岩強風化部。礫混じり土砂状を呈し所々岩組織は不明瞭となる。	
3	516.73	2.90		泥岩	DM	青灰褐				強風化部。岩組織は明瞭に残すがコアは指圧で礫混じり土砂状に崩せる。	
	516.18	3.45		花崗岩	DM	乳灰			白亜紀	強風化しオニマサ状呈する。	
4	514.93	4.70		花崗岩	CM	淡灰白				花崗岩質岩脈。短柱コア主体（軟岩II）。割れ目沿いはやや軟質。 縦割れ目により一部半柱状を呈する。 上下の貫入境界は泥岩層理に調和的。	
5				泥岩	DH	青灰褐			ペルム紀	泥岩強風化部で軟質柱状コア主体（軟岩I）。コアは柱状を呈するが指圧～ハンマー軽打で崩せる。 深度5.30m付近，層理の乱れあり。 深度5.40～5.95m，短柱～岩片状コア（軟岩II）。岩片硬質であるが割れ目発達。割れ目沿いは褐色汚染される。 深度6.00m以深，褐色を帯び軟質となるが深度方向に徐々に新鮮となる。	
6											
7	512.63	7.00									
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
14	1.15	5	4	5	14/300		
	1.45						
35	2.15	9	12	14	35/300		
	2.45						
33	3.15	12	9	12	33/300		
	3.45						
	4.00	貫入不能			50/0		
	4.00						
75	5.00	18	32		50/200	200	
	5.20						
300	6.00	50/50			50/50	50	
	6.05						
	7.00	貫入不能			50/0		
	7.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					2/1
					2/7